答 申 概 要

令 和 5 年 3 月 9 日

千葉県ナイトタイムエコノミー推進審議会

令和4年度千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援事業として実施された、「MAKUHARI BAY-PARK FESTA 2022 ちば応援合戦『CHIBA PRIDE』」及び「昭和の森・恐竜王国～ナイトアドベンチャー～」の実績報告につきまして、市からの諮問に基づき、令和5年2月16日に第3回千葉市ナイトタイムエコノミー推進審議会を開催し、審議を行いました。

はじめに、「MAKUHARI BAY-PARK FESTA 2022 ちば応援合戦『CHIBA PRIDE』」について、審議を行いました。

なお、当該事業につきましては、開催場所周辺において発生した事故を踏まえ、一定の時間を空けることが必要と考え、開催日を11月5日から、予備日として設けていた11月12日に変更する旨の報告を受けております。

実績報告を確認し、慎重に審議を行った結果、「来場者数」及び「経済効果及び周辺への波及効果」が計画を上回るものであり、その他の項目においても、概ね計画どおり実施されたものと認められます。

評価する点としては、当該事業は、海浜幕張の幕張ベイパークにある若葉3丁目公園において、公園内にステージを設置するとともに、約1,000個のLEDスカイランタンを夜空に打ち上げるなどの魅力的な企画を行うことにより、普段の夜の公園とは異なる非日常的な景観演出が行われたことは評価できます。

また、審議会からの意見等を踏まえ、市から要望した事項への対応に関し、近隣住民のみならず、多くの来街者による参加を促すため、初の試みとしてスカイランタンの打ち上げを中心とした魅力的で分かりやすいプロモーション動画を作成し、Instagram（SNS）による告知を行ったほか、Instagramにインターネット広告を掲出することで、来街者に対し広くイベントの告知を行いました。

また、コンテンツについても、県内各エリアの地域産品やマルシェを集めるとともに、広く多くの方に開放した企画を実施したことなどにより、来場者等に対するアンケートでは、約54%が街の外からの参加者であったとの回答結果が得られており、事業者が近隣住民のみならず、多くの来街者も参加しやすい事業となるよう、プロモーションや仕組みについて工夫したものと認められ、審議会からの意見等を踏まえた市の要望事項に対して、対応していただいたものと評価します。

さらには、昨年度実施し好評であったスカイランタンの打ち上げなどの魅力的な企画は継続させていくことで、当該事業における定番のナイトコンテンツとして、着実に認知度を高めていった結果、計画を大幅に上回る約2万人の来場者を集客することが出来たことも、非常に高く評価しています。

なお、約2万人の来場者を集客したことにより、出店店舗の売上総額が計画比で1.4倍、昨年比で2.4倍になるとともに、周辺店舗の売上は、通常時と比較し10～50%増加したとの報告があることから、当該事業を実施したことによる経済効果及び周辺への波及効果があったものと認められます。

そのほか、昨年度の実績報告において、事業継続のため、次年度以降の事業収入を増加させる取組みとして挙げていた「出店料・参加費の値上げ」や「各企画の参加費の徴収」などについても着実に実行し、本制度の補助金を含めてではありますが、収益を実現しました。

このように、昨年度の結果を踏まえた改善を実施しており、事業を継続・自立させていく意欲があるものと認められます。

次年度以降について、事業者は、周辺店舗や関係者等とさらなる連携を取りながら、改善・拡充の上、開催する意向を持っており、また、広告料や協賛金の値上げなどにより、収入増加に向けた取組みを検討しており、継続開催に意欲的であると認められます。

従って、これらを総合的に勘案し、補助金精算額(3,399千円)のとおり、補助金を支払うことが妥当であるものと考えております。

続いて、「昭和の森・恐竜王国～ナイトアドベンチャー～」について、審議を行いました。

実績報告を確認し、慎重に審議を行った結果、「来場者数」が計画を上回るものであり、その他の項目について、「経済効果及び周辺への波及効果」以外は、概ね計画どおり実施されたものと認められます。

評価する点としては、当該事業は、昭和の森園内の冒険広場にある雑木林において、10数体の恐竜ロボットをその植生にあわせた配置をするとともに、間接照明でライティングするほか、ナイトアドベンチャー用のBGMを流すことなどにより、開催場所の特長を生かした景観演出を行ったものと認められます。

来場者は、ランタン型のLEDライトを持ち、夜の森の中を進んでいくと、センサーに反応した恐竜の鳴き声や動く恐竜の動きに遭遇できることで、驚きと興奮が味わえるなど、非日常的で特別な体験を演出できたものと評価できます。

また、ターゲットを幼児から小学校低学年の子供を持つファミリー層に設定するとともに、開催日程についても子供たちが夜間に活動しやすい夏休み期間に設定し、プロモーションにおいても市内の幼稚園、小学校等へのチラシ配布やファミリー層向け情報WEBサイトへの広告掲載など、一貫して子供を持つ

ファミリー層に焦点を当てた事業構成により、計画を上回る約3千人の来場者を集めることに繋がったものと評価します。

さらには、当該事業の開催期間のうち8月分の昭和の森の利用について、約3千人の来場者を集めたことにより、前年同月と比較すると、利用者数は約42%増、駐車場利用は約32%増、売店売上は約14%増との報告があり、一定程度の経済効果があったものと認められます。

なお、計画を大幅に上回る約3千人の来場者を集めたことにより、本制度の補助金を除いても、収益を実現したことも評価します。

そのほか、台風の接近に伴い中止した8月13日の代替開催として、同じく令和4年度支援事業である「スターライトキャンプズ 2022」と、10月29日に同日開催し、WEB プロモーション等を相互に実施するなどの連携を図りました。

その結果、当該事業のターゲット層ではなかったキャンプを好むファミリー層に対しても告知することができ、開催期間中の1日平均を上回る来場者数を獲得できたとの報告があることから、経済効果を高めるための取組みを一定程度実施できたものと認められます。

次年度以降について、事業者は、夏休み期間のほか、ゴールデンウィークやシルバーウィークなど、子供たちが休みの期間に毎年実施することを計画しています。

また、来場者の約7割が市内在住であったとのアンケート結果から、次年度以降は市外・県外のファミリー層をさらに取り込めるようなプロモーション方法や媒体を検討の上実施する方針であり、継続開催及び集客について非常に意欲的であるものと認められます。

さらには、周辺への経済波及効果についても、近隣宿泊施設や飲食店とのホームページへの相互リンク等のプロモーション連携や、相互割引キャンペーンなどを検討しています。

従って、これらを総合的に勘案し、補助金精算額（999千円）のとおり、補助金を支払うことが妥当であるものと考えております。

最後に、この2事業の取組みにより、本市におけるナイトコンテンツのさらなる充実や、夜間における魅力的な空間創出、来街者の増加及び消費喚起による地域経済の活性化に繋がることを期待します。